

第5回市立病院の今後のあり方検討会 議事録

1. 日 時 令和2年1月29日（水）19時～20時

2. 場 所 金沢市役所7階 第4委員会室

3. 出席者（敬称略）

委員：金子座長（金沢大学）、羽柴委員（金沢市医師会会長）、小藤委員（石川県看護協会会長（代理：塩村常任理事）、丸口委員（金沢市社会福祉協議会会長）、木下委員（金沢市地域包括支援センター連絡会副会長）、本谷委員（金沢市校下婦人会連絡協議会副会長）、村山委員（金沢市副市長）

事務局：金沢市保健局長、健康政策課長、金沢市立病院事務局長、金沢市立病院事務局次長ほか

オブザーバー：金沢市立病院院長

4. 主な質疑応答

「提言書(案)」の確認について

座長	ただいま説明のあった提言書（案）について、委員の皆さんの意見を伺いたい。
F 委員	<p>内容的には皆さんの意見が反映されていると思う。</p> <p>最近、市民幸福度などといわれるが、心身ともに不安のないことが一番の幸福だとすれば、安全安心の確保が必要になってくる。そういう意味では安定した医療を提供ができる病院であり続けてほしい。</p> <p>二つ目は、新たな経営形態などについて、具体的な方法など今後検討を深めていく必要があると思っている。</p> <p>三つ目は、いろいろと制約・条件が厳しくなってくる中で、これからも医療ニーズがあるということになると、そこへの対応も考えていかなければいけないし、量だけではなく質や機能の強化が求められる。改革といっても手足を縛られては何もできないので、自由度を高めることが必要になってくるので、独立行政法人化をはじめとして、いろいろな研究を進めるとともに、一段の経営努力も必要になってくる。</p> <p>また、市立病院ということで、福祉や保健の部局、地域団体や業界団体と近い関係にあり、そことの連携が図りやすいという独特の強みがあるので、その利点を最大限に生かしていただきたい。</p> <p>何よりも、公立病院として、地域の中核を担う病院であり続けて欲しいと思っている。</p>
E 委員	<p>国の地域医療構想にもあるが、地域の病院との連携をしっかりと、ダウンサイジングと書いてあるが、一つの病院だけではなく、地域にいろいろな基幹病院があるので、それぞれとの連携を模索し、南部地域全体で市民に医療を提供できるよう準備することが必要である。</p> <p>不採算部門を抱えながら利益を出すのはなかなか難しいが、公共の病院という色彩を残しつつ、なおかつ南部地域で一定程度の機能をもち</p>

<p>C 委員</p> <p>市立病院事務局長</p>	<p>つ病院として、地域の既存の病院と連携して医療を提供してほしい。</p> <p>今は市立病院ということで、公的使命を担って結核病床を有していたり、また、市役所の施策と連携した事業もあるが、独立行政法人化した場合もそうした機能は維持されると思ってよいのか。</p>
<p>C 委員</p>	<p>独立行政法人化とは、市の経営する公営企業法に基づく病院から独立した事業体に運営形態が変わることだが、その目的とするところや、市立病院としての特色については、経営形態が変わっても変わるものではないと考えている。</p>
<p>H 委員</p>	<p>そうであれば安心した。</p>
<p>I 委員</p> <p>座長</p>	<p>赤字であるが市立病院としてしなくてはならないことがあるので、不採算部門を全部削るのはいけないと思う。</p> <p>また、現地での建て替えが一番よいと思うが、難しいようであるなら仕方ないのではないか。ただし、平和町周辺の人たちのことも大事にして欲しい。</p> <p>そして、市立病院では何年かすると人事異動があり専門知識などの蓄積が難しいということがあり、地方独立行政法人化を検討と書いてあったが、その方が市民にとっても職員にとってもよいのではないかと思う。</p>
<p>G 委員</p>	<p>これから具体的なことを決めていくと思うが、やはり住民のニーズをもう少し分析してもいいのではと感じた。</p> <p>すべて、ここには書ききれていないが、これまで4回の検討会で外来・入院にどんな患者がいるのか、地域にどんな医療資源があるかなど検討してきた。今後も、疾病動向や患者動態など、議論していくべき内容を指摘いただいたと思っている。</p> <p>建設計画の中では、今後、南部や南部近郊で候補地を選定し、候補地が決まった後に基本構想に着手し、概ね10年以内という形で書かれている。今も老朽化が目立っているのでスピード感を持って新たな病院について検討しなければいけないが、現在の市立病院の周辺の方々に不安があってはいけないので、外来の一部を残すということも配慮されていると思う。</p> <p>また、適地が決まってから10年以内とあるが、それまでの経営をどうするか。赤字を出しても仕方がないという温かい言葉もあったが、病院への補助は出さないほうが望ましいので、今後10年程度の期間をどう戦略的に経営していくのかということ、引き続き考えなければいけないと思っている。折しも国では、再編統合が必要な病院の検討がされたところであり、市立病院はそのリストには上がらなかったが、やはり不断の努力で効率的な経営をしていかなければならないと思っ</p>

座長	<p>ており、今回、南部、周辺との協力関係が提言書で示されたことは非常にいいタイミングであったと思っている。</p> <p>私は市立病院の経営改善委員会をさせていただいて、富山や福井でもいくつかの委員をしており、10年以上いろいろな病院をみてきたが、金沢市立病院はその中でも厳しい環境にあると考えている。したがって、今回の検討会設置の話があったときは、少しほっとした部分があった。</p> <p>過去4回、委員の方々からはいろいろな角度から率直な意見をいただいた。提言書（案）には具体的なことも書かれており、今後の議論を進める上で非常に良くできているのではないかと。</p> <p>他に意見がないようであれば、本日の会議は、ここまでとしたい。本日の意見を踏まえた文言等の修正については私と事務局にご一任いただきたい。</p>
----	--